

平成 2 8 年死亡災害発生状況（確定値）

| 番号 | 発生月 | 業 種 | 事故の型 | 起 因 物 | 年代 | 職種 | 発 生 状 況 |
|----|-----|-----------------------------|-------------|-------|-----|-------|--|
| 1 | 1月 | 建設業 (電気通信工事業) | 墜落、転落 | 送配電線等 | 20代 | 電工 | 通信線の修理工事において、既設電柱（高さ約14m）の約7mの位置にて、ケーブルの張力を緩める準備作業を行っていたところ、墜落した。 |
| 2 | 4月 | 製造業 (電気業) | その他 | 起因物なし | 40代 | 技術者 | 県外に所在する出先事務所へ長期出張中であつたところ、宿泊先としていたホテルの客室において自死したもの。被災者は本年1月以降、関係機関との折衝等の業務のため、労働時間が増大し過重労働となつていた。 |
| 3 | 5月 | 製造業 (染色整理業) | 転倒 | 通路 | 70代 | 染色工 | 工場内の通路上で倒れているのを発見されたもので、頭蓋骨骨折による脳挫傷により約3か月後に死亡したもの。 |
| 4 | 6月 | 運輸交通業 (道路貨物運送業) | その他 | 起因物なし | 50代 | ドライバー | 到着した現地において、荷の搬入時間になつてもトラックが動き出さず、また窓がカーテンで覆われて運転席の中の様子がわからないことから、不審に思つた後続の運転手が警察に通報し、警察が車内を確認したところ、運転席後部の仮眠スペースにて仰向けで倒れている被災者を発見。救急搬送先の病院で死亡が確認されたもの。労働時間が長く、過重労働となつていた。 |
| 5 | 7月 | 運輸交通業 (道路貨物運送業) | 分類不能 | 分類不能 | 50代 | ドライバー | 事業場駐車場でトラックの荷積作業を行つていたところ、トラックのそばで頭部から出血し倒れているのを発見されたもの。 |
| 6 | 8月 | 建設業 (その他の建築工事業) | 交通事故 | トラック | 50代 | 解体工 | 現場に向かう途中で赤信号で減速中のダンプカーに追突したもの。 |
| 7 | 9月 | 製造業 〔無機・有機化学 工業製品製造業〕 | 有害物との 接触 | 有害物 | 30代 | 作業員 | 薬剤製造過程において反応器内に発生する硫化水素ガスを真空ポンプで除去する作業を行つていた作業員1名が同工場の2階で倒れているところを別の作業員1名が発見し、病院に搬送されたが、約1時間20分後に死亡が確認されたもの。 |

（昨年確定値 10名）